

miratap

キッチン収納

ジオーラ カップボード

組立設置説明書

01-GER02S-01

もくじ

安全上のご注意	2	
各部のなまえ	4	
部品一覧表	4	
施工時に必要な主な工具類	4	
取付けかた	5	
調整	11	
組立設置後の確認	11	

- 組立設置説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に組立設置してください。
特に「安全上のご注意」（2ページ）は、組立設置前に必ずお読みください。
- 組立設置説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で組立設置されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その組立設置が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- 開梱時に外観確認を行ってください。
組立設置後に確認されたキズ、破損などは保証対象外となります。
- 梱包材は、組立設置中・組立設置完了後の養生にもお使いください。
- 梱包材や残材は、「廃棄物処理法」に従って適切に処理してください。
- この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。
- 取扱説明書、保証書は、必ずお客様にお渡しください。
(組立設置完了後、使いかたを説明してください。)

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った組立設置をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。



警告

 分解禁止	絶対に分解したり、修理・改造したりしない 思わぬ事故の原因になることがあります。	取付け作業時はヘルメット、安全靴・保護手袋などを着用する キャビネットの角で頭を打ったり、落下物による打撲などの事故の原因となります。
 必ず守る	下地材の材料仕様は住宅（建築物）との兼ね合いがあるので、現場監督・建築士などと相談のうえ、仕様決定する 不適切な材料を使用すると十分な強度が得られず、落下し、事故の原因となります。	 必ず守る キャビネットの固定には、必ず指定の取付け部品、ねじ類を使用する 落下して、けがの原因となります。 ワークトップやキャビネットは、必ず保護手袋をして取り扱う けがをするおそれがあります。



注意

	ワークトップ端部に注意する けがをするおそれがあります。 搬入・設置時は商品の取扱いに注意する ワークトップやエンドパネル、扉、引出しの化粧面はカケやキズが付しやすい素材を採用しています。商品の角をぶついたり、商品を落下・転倒させないように取扱いには十分注意してください。	 必ず守る 設置仕上げに使われる溶剤・接着剤・洗剤・その他薬品類については、容器などにある注意表示に従い、正しく使用する 人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因となります。 ねじで固定する場合は、必ずドライバーで行い、締めすぎによるねじの空回り、頭(スリワリ⊕)つぶれのないようにする 落下して、けがの原因となります。 設置完了後は、引出しが確実に取り付けられていることを確認し、傾き、がたつきがある場合は、正しくセットする 引出しが落下して、けがの原因となります。
 禁止	引出しにぶら下がらない乗らない 引出しが外れて、けがや、破損をするおそれがあります。	

搬入時のご注意

- 重量のある商品や荷姿の大きな商品があるため、受取りの準備をお願いします。
また、商品の品質確保のため、搬入は必ず2人以上で手運びにて行ってください。
※車上渡しとなります。

- 商品の搬入経路を確保してください。

大型の商品を設置される場合、商品が廊下や階段を曲がれない、玄関から入らないなどの理由で搬入できない場合があります。下記の内容をご参考に、搬入経路を確認してください。

チェック項目	
建物の入り口	高さは十分にありますか？
エレベーター	商品と作業者が2名以上入るスペースはありますか？
階段	手すりなどで狭くなっていませんか？階段の高さや形状、急な傾斜の有無を確認してください。
玄関ドア	幅・高さは十分にありますか？手すりなど、飛び出している部分はありませんか？

- 商品の取扱いには十分に注意してください。

基本的に搬入は梱包された状態で行いますが、ワークトップなどの化粧面はカケやキズが付きやすい素材のため、商品の角をぶつけたり、落とさないように取扱いには十分注意してください。

組立設置前のご注意

- 直射日光のあたる場所に保管しないでください。
- 商品を開梱したら外観に損傷がないことをご確認ください。
(躯体取付け済み商品の損傷は、保証対象外となりますので、取付け前に必ずご確認ください。)
- キャビネットに取り付けられている梱包補強材を取り外してください。
- 商品の養生は下記の注意事項を厳守ください。
 - ①梱包の段ボール・養生紙などを用い養生してください。
 - ②組立設置途中でも工具の落下などによるキズや破損防止のため、ワークトップの表面を養生してください。
 - ③組立設置完了後、内装工事が続いて行われるときや引き渡しまでに日数があるときには、商品全体を養生してください。
 - ④養生テープは直接商品に貼らないでください。
 - ⑤養生テープは粘着力の弱い養生紙専用テープを使用してください。
- 引出しに汚れやキズが付かないように養生をして保管してください。
- 温度変化によるワークトップ寸法の伸縮がありますので、両端壁プランの場合、躯体は両端各2 mm以上大きく仕上げてください。

組立設置前の確認

設備位置が図面どおりか、以下の項目を確認してください。

- 設置場所の間口寸法・床の水平・壁の垂直・コーナー部の直角度
※水平・垂直・角度などの精度が出ていないと仕上げが悪くなり、使用時の安全性にも影響します。
- 窓枠や建具の位置および寸法
- 取付け用下地の位置および寸法
(桧木30mm×90mm以上、または幅100mm以上の強度のある硬い木材、もしくは12mm以上の合板)

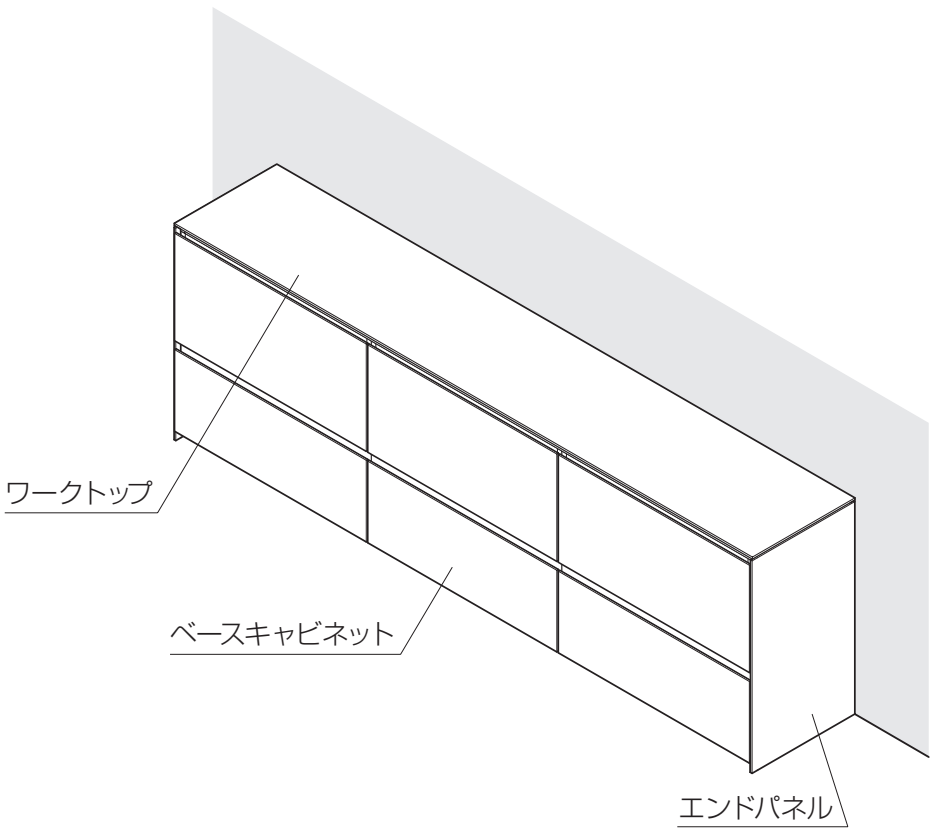
⚠ 警告



必ず守る

キャビネットを取り付ける取付け用下地(桧木30mm×90mm以上、または幅100mm以上の強度のある硬い木材、もしくは12mm以上の合板)が指定どおりに使用されていることを確認してから取り付けてください。
(取付け用桧木に十分なねじ保持力がないと、使用中に落下し、けがをするおそれがあります)

各部のなまえ



部品一覧表

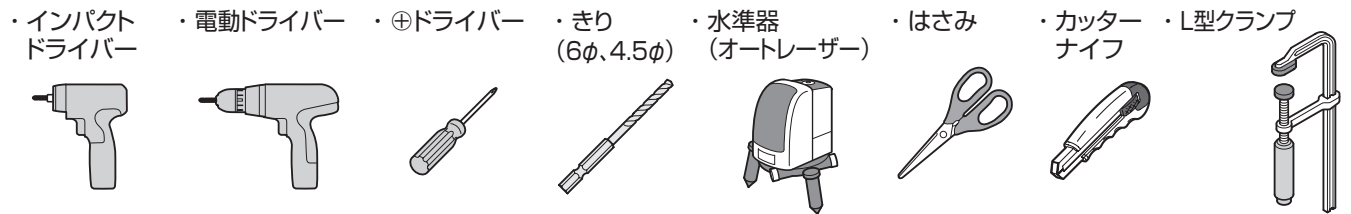
[寸法単位 : mm]

■取付部品箱

部品名	入数	部品名	入数
連結用ねじ コーススレッド ⌀4×28	40	スペーサー	10
壁固定用ねじ (ウォール型) コーススレッド ⌀5.3×60	15	天板下バックアップ用角材 (長手用 : L=900mm) (両面テープ付)	3
トラスタッピンねじ ⌀3.5×16	10	木口テープ	4
化粧キャップ	50	隙間隠しEPDMゴムスポンジシール材 (水密発泡パッキン)	2
		取扱説明書・組立設置説明書	1セット

※プランによって、ねじや金具などが余る場合があります。

施工時に必要な主な工具類



各部のなまえ／部品一覧表／施工時に必要な主な工具類

取付けかた

[寸法単位 : mm]

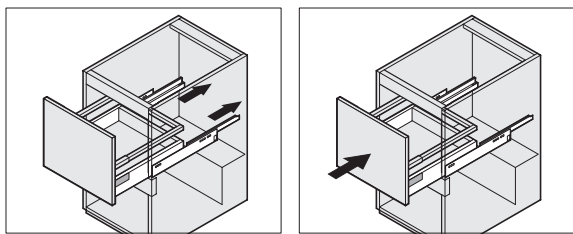
⚠ 注意

必ず守る	引出しを取り外して作業を行う 引出しに汚れやキズが付かないように養生をして保管してください。
	引出しを持つ場合は、必ず引出しの側板部分を持つ 左右のパイプ部分を持つと外れて引出し本体が落下し、けがをするおそれがあります。
	ねじ固定は、締めすぎによる空まわりをしないように注意する
	クランプなどの締付工具を使用する場合、締めすぎないように注意する

1 ベースキャビネットの取付け

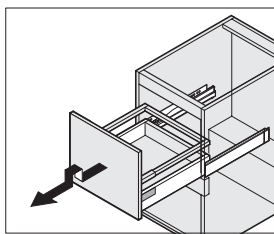
1. ベースキャビネットの引出しの取外し

引出しの入れかた



“カチャ”という音で引出しが正しく入ったかどうか確認できます。

引出しの外しかた

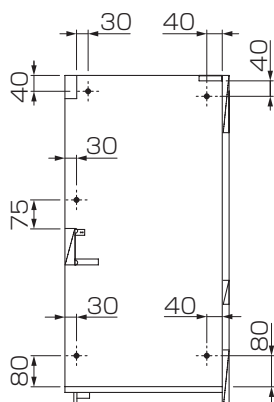


引出しを全開にし、少し上に持ち上げながら引く。

2. ベースキャビネットの下穴加工

ベースキャビネットの各ねじ固定位置に下穴をあける。下穴加工位置は、以下と次ページの図面を参照してください。

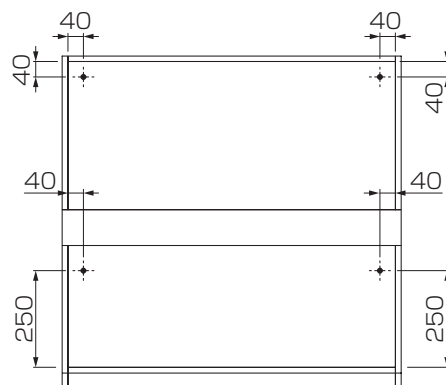
■キャビネット連結用 下穴加工位置 ($\phi 4.5\text{mm}$ 、深さ15mm程度)



<側面図>

連結位置(5か所)

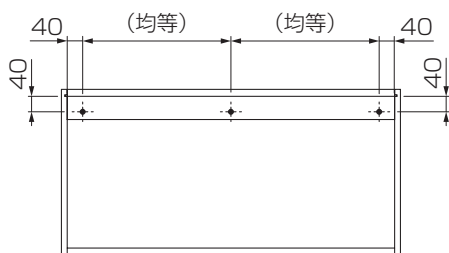
■キャビネット壁面固定用 下穴加工位置 ($\phi 6\text{mm}$ 、深さ15mm程度)



<正面図>

連結位置(4か所)

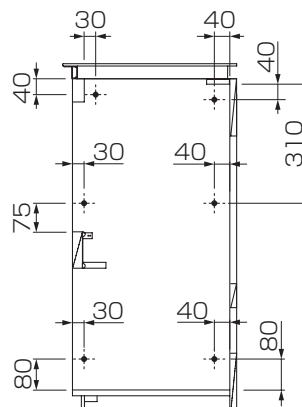
■ワークトップ固定用 下穴加工位置
($\phi 4.5\text{mm}$ 、深さ15mm程度)



<上面図>

連結位置(3か所)

■エンドパネル固定用 下穴加工位置
($\phi 4.5\text{mm}$ 、深さ15mm程度)



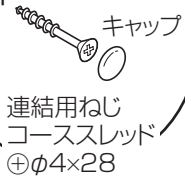
<側面図>

連結位置(6か所)

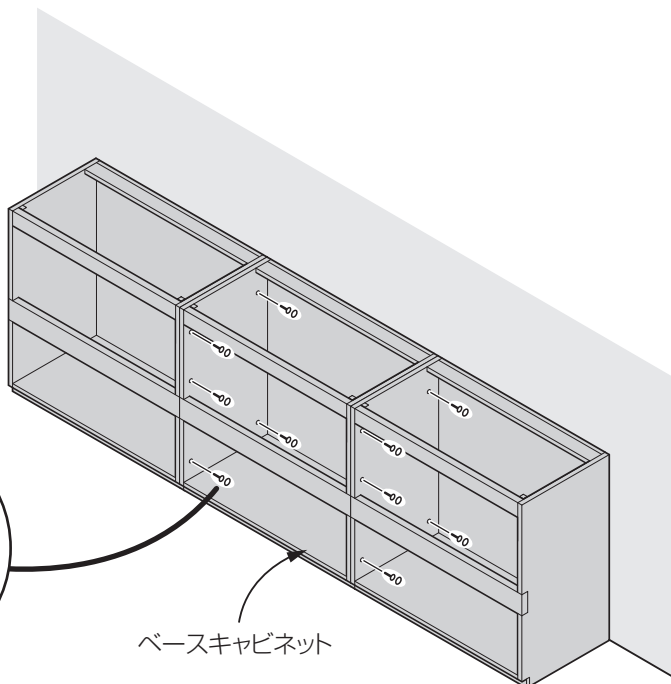
3. ベースキャビネットの連結

ベースキャビネットを前面合わせで設置し、左右連結する。

連結固定
キャビネット
各5か所



ベースキャビネット



4. ベースキャビネットの背壁固定

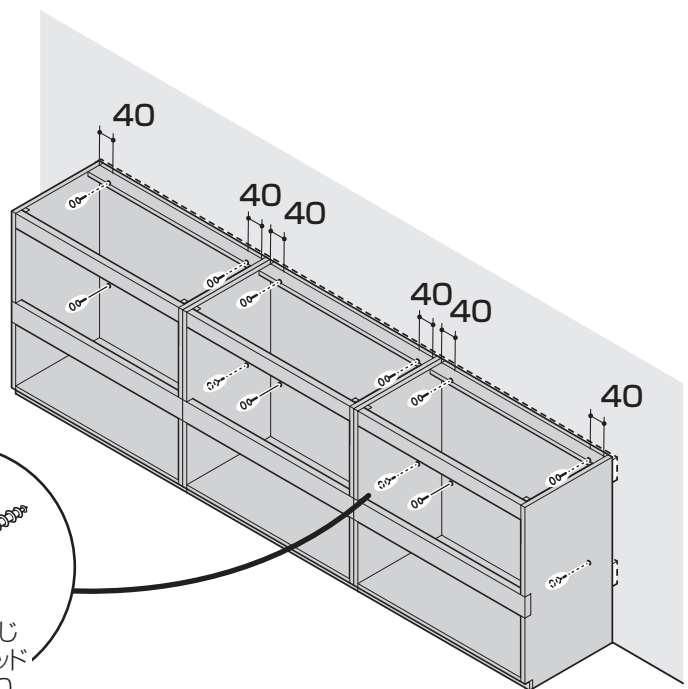
キャビネット背板と壁面をねじで固定し、
キャップを取り付ける。

壁固定

各キャビネット
各4か所

キャップ

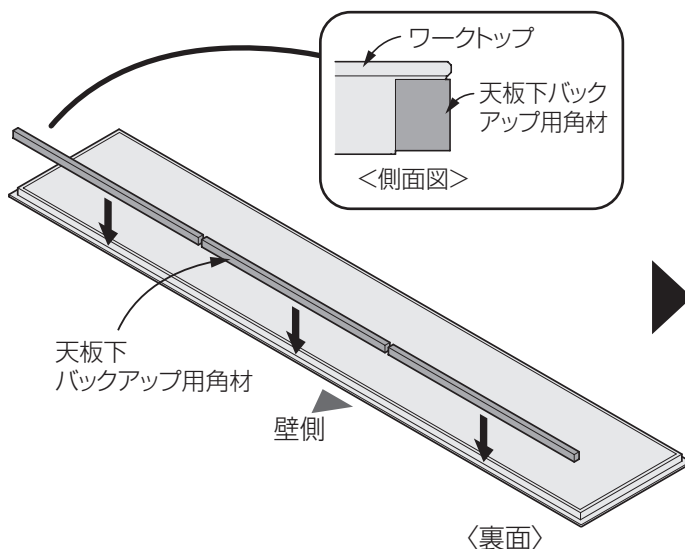
壁固定用ねじ
コーススレッド
④φ5.3×60



2 ワークトップの取付け

① ワークトップに天板下バックアップ用角材を両面テープのはく離紙をはがして貼り付ける。

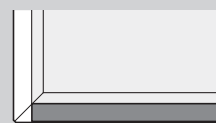
※天板下バックアップ用角材は、壁面に接する箇所への取付けが必要です。



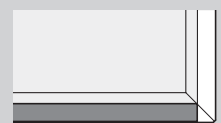
ポイント

天板下バックアップ用角材は、天板下のセットバック部分まで貼り付けます。

角材は、現場カットして長さ調整してください。



端まで貼り付ける



端まで貼り付ける



<裏面>

ポイント

- キャビネットにワークトップを載せる前に、必ず天板下バックアップ用角材を貼り付けてください。
- 天板下バックアップ用角材を貼り付ける前に、ワークトップの裏面をふき取ってください。
出荷時に汚れている場合があります。

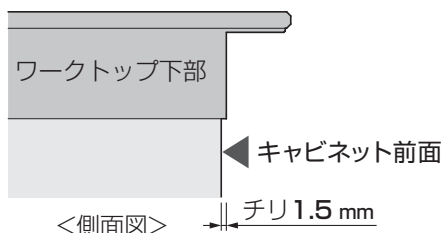
- ② ベースキャビネットにワークトップを載せる。

⚠ 注意	
! 必ず守る	重量物注意 持ち上げ・移動は必ず複数の人数で行う

- ③ ワークトップとベースキャビネットの前後・左右位置を調整し、キャビネット内部よりねじ固定する。
キャビネット背板側はワークトップ固定用桟木を通して固定する。

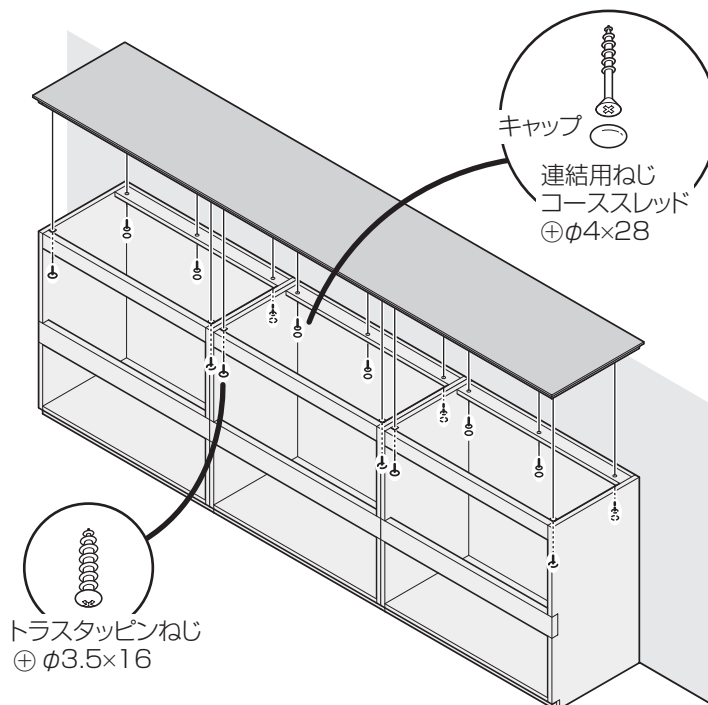
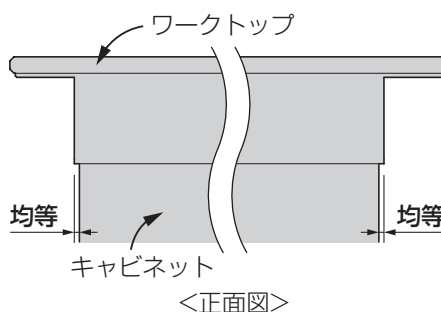
前後の位置調整

ベースキャビネットの前面と、ワークトップ下部の前面が、1.5mmのチリがつくようにしてください。



左右の位置調整

キャビネットとワークトップのチリを均等に取り付けてください。

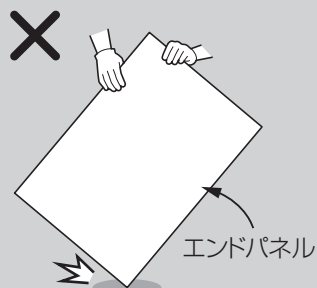


※ねじは隙間なく締め付けてください。隙間があると、がたつきの原因となります。
※指定の位置でねじ固定できない場合は、位置を変えて取り付けてください。

3 エンドパネルの取付け

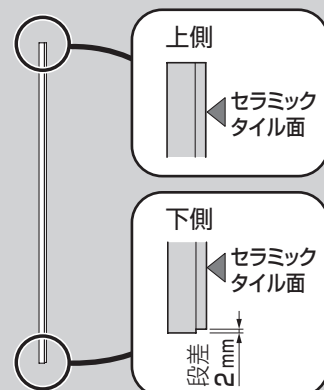
ポイント エンドパネルの取扱い注意

右図のように角を立てたりしないでください。タイルの角が欠けるおそれがあります。

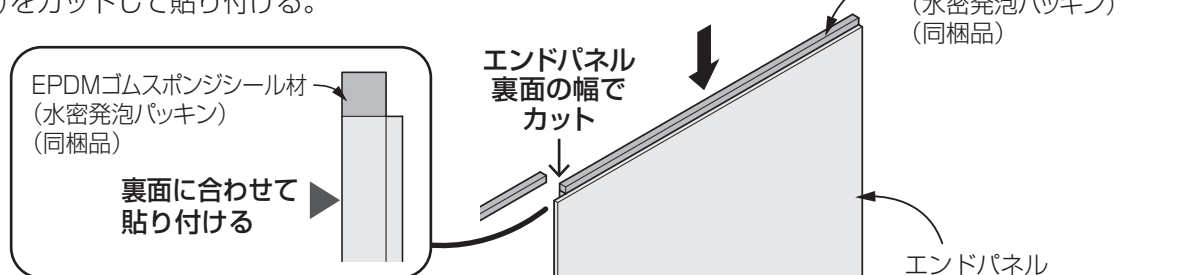


ポイント

エンドパネルはタイルと基材との段差がある方が下側です。



- ① エンドパネルの上部木口に、EPDMゴムスポンジシール材(水密発泡パッキン)(同梱品)をカットして貼り付ける。



※EPDMゴムスポンジシール材(水密発泡パッキン)は浸水対策です。

- ② ベースキャビネット側板に木口テープ(スペーサー)(同梱品)を貼り付ける。

※木口テープ(スペーサー)は、ワークトップの側面とキャビネット側面との段差を解消するためのものです。

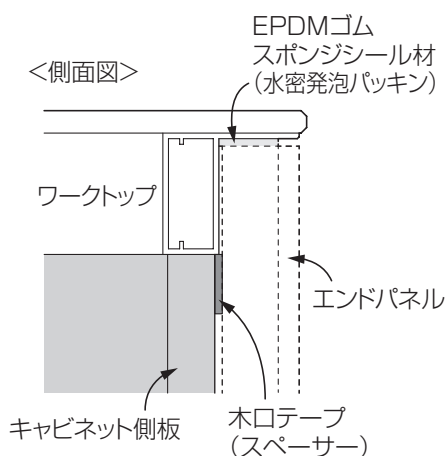
・ワークトップが出っ張る場合…

設置の状況に応じて木口テープ(スペーサー：両面テープ付き)を約100mm程度にカットして、はく離紙をはがして貼り、エンドパネルの建ちを調整してください。

段差が大きい場合、木口テープ(スペーサー)をカットして数枚重ねてください。

・キャビネットが出っ張る場合、段差がない場合…

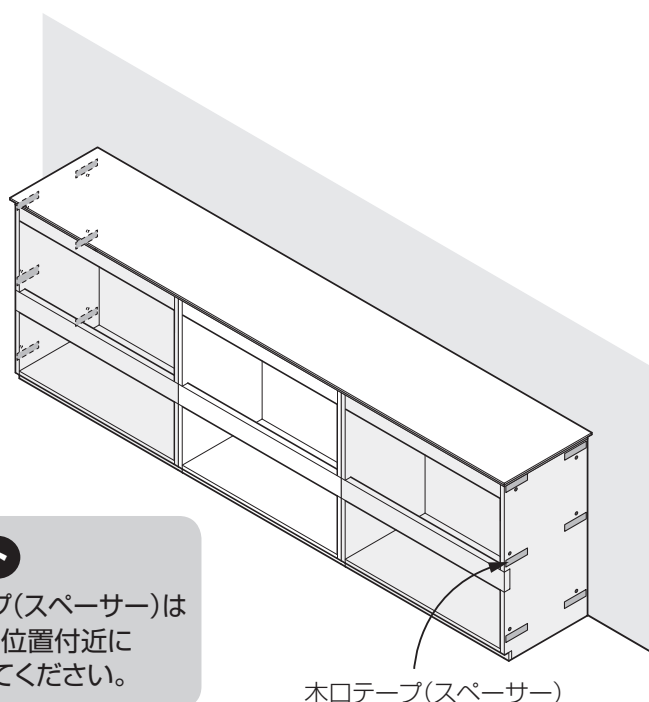
木口テープ(スペーサー)の貼付けは不要です。



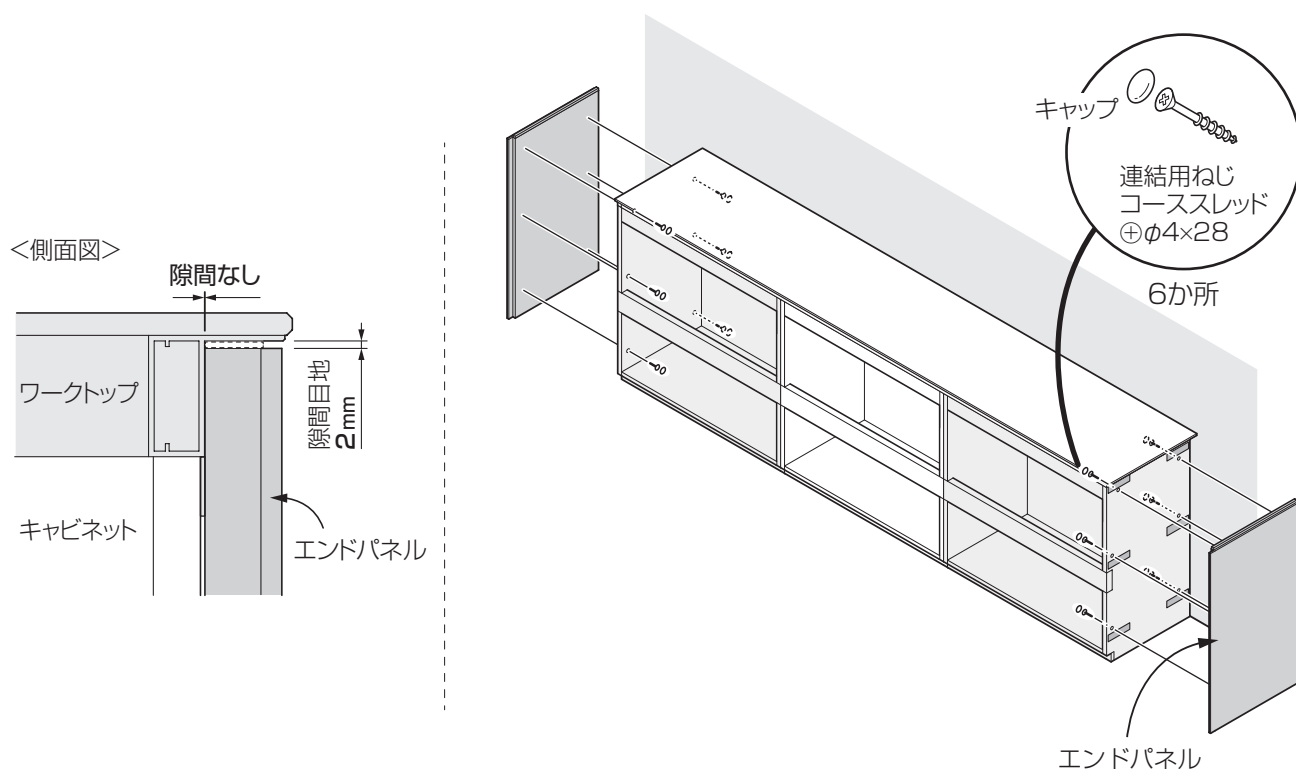
キャビネット側板に木口テープ(スペーサー：両面テープ付き)をエンドパネルが傾かないよう上下に貼る(固定ねじ付近)

ポイント

木口テープ(スペーサー)はジョイント位置付近に貼り付けてください。



- ③ キャビネット内側からエンドパネルをねじ固定し、キャップを取り付ける。
(エンドパネルとワークトップの隙間目地 2mm)



※ベースキャビネットの設置完了後、引出しを元の位置に戻してください。
引出しの取付け後、バンポンを保護するマスキングテープをはがしてください。

取付け時、タイルの角が欠けやすいので十分注意してください。

調整

- 設置完了後は、引出しのがたつき・ゆるみ・傾きがないことを確認してください。
引出しの調整が必要な場合は、取扱説明書「各部の調整」の要領で調整してください。

組立設置後の確認

- 下記の表に従い、仕上がりをチェックしてください。

	チェック項目	チェック
キャビネット	キャビネットの連結は確実に行われているか。	
	壁面との固定は確実に行われているか。	
	キャビネット内にキズ、汚れ、残材はないか。	
	各キャップ類は取り付けてあるか。	
ワークトップ	ワークトップ表面にキズ、汚れはないか。	
	ワークトップの水平はよいか。	
	ワークトップのタイルに割れやカケはないか。	
引出し	引出しに傾き、がたつき、緩みはないか。	
	引出しは確実に取り付けられているか。	
	引出し前板の調整はできているか。	
	部材に貼られている保護シートははがしてあるか。	
	引出し裏のバンポンを保護するマスキングテープははがしてあるか。	
	引出しのタイルに割れやカケはないか。	
資料	取扱説明書はお客様の目につきやすい場所に置いてあるか。（引出しの最上段など）	
養生	養生されているか。 ※内装工事が続いて行われるときや、引き渡しまでに日数があるときは、必ず養生してください。 ※粘着力の弱い養生テープで商品表面を避け目立ちにくい部分に貼り付けてください。	
清掃	キャビネットのほこり・汚れは柔らかい布でふき取られているか。	

miratap

株式会社 ミラタップ miratap inc.

●お客様相談センター

受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。

<https://www.miratap.co.jp>

TEL: **0120-468-838**

FAX: 0120-382-096



GER02S/Di0526-0